

国際通信社 6 月発売の新商品

ウォーゲーム日本史第6号 箱館戦争

マップと駒、カードは製作途中のものです。



定価 2940 円
(税込)



- マップ 1 枚 (B3 判両面印刷)
- 20mm カウンターシート 1 枚 (80 個)
- サイコロ 2 個
- 32 頁フルカラー解説書 (ルール 6 頁×2 本)
- A4 判変形 (297x255x16mm)
- カード 20 枚
- ブリスターケース入り
- 収納用チャック付ポリ袋

ウォーゲーム日本史第6号は、幕末の動乱・戊辰戦争の最終章となった「箱館戦争」を題材にしたゲームが登場します。本作は、新政府軍の蝦夷上陸から始まった戦役全般を扱った『箱館戦争』と、本戦役中の海戦のみを扱ったゲーム『箱館湾海戦』の2セットが入っています。『箱館戦争』は40個の駒とカードを使用してプレイするウォーゲームで、新政府軍は蝦夷の制圧を、旧幕府・共和国軍はその阻止を目指します。榎本武揚や土方歳三などの駒も登場します。『箱館湾海戦』は、戊辰戦争の前哨戦となった「阿波沖海戦」から新政府軍の甲鉄艦奪取作戦として知られる「宮古湾海戦」など多彩なシナリオが入っており、本戦役で活躍する機会がなかった旧幕府軍の軍艦「開陽」も活躍するゲームです。1つで2倍楽しめるお得な本作を是非お求め下さい。